

県会報告 第166号

6月県議会 定例会

会期 6月18日(火)～
7月3日(水)



ふくしま復興本部設立 加速する再生ふくしま

ふくしま復興本部は政権与党として福島復興再生を着実かつスピード感を持って進めるよう昨年12月に設立されました。

会派の全議員が分担し、県内59全市町村を訪問して各自治体の復興に対する現状や課題を確認し要望を頂きました。

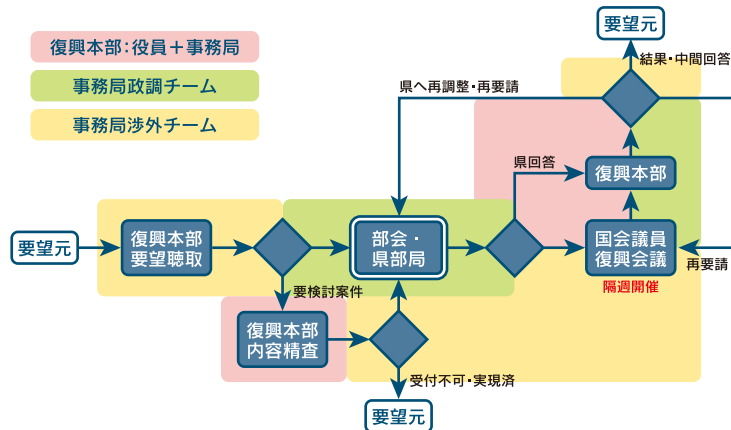
それぞれの要望は県と協力し県で

対応可能な案件は対策を求め、国が関係する案件については福島県選出の自民党国会議員団との隔週の会議に於いて、復興庁から各省庁へ対応を強く求めています。

現在およそ550件の要望事項を受け、その2/3に当たるおよそ370件の案件に対し回答している状況です。

今後も引き続き残る要望や新たな要望への対応と同時に、回答のあった施策に対するフォローをつけ、復興が皆様にとって見えるよう取り組んで参ります。

要望対応フロー



この子たちのため!



中央にうたえる!

浜通り地方への取り組み

- 要望** ねずみ・イノシシなど野生鳥獣の駆除
- 対応** 鳥獣被害防止緊急対策・野生動物における放射性核種の動態調査事業
- 要望** 地域医療の充実
- 対応** 地域医療センターへの財政支援・地域医療再生基金の強化

中通り地方への取り組み

- 要望** 子どもたちの屋内・野外遊び場の整備
- 対応** 安心子ども基金・子ども元気復活交付金による支援強化
- 要望** 復興支援道路福島相馬間の全線事業化(国道115線改良)
- 対応** 残る福島霊山間のH25年度事業化決定

会津地方への取り組み

- 要望** 教育旅行など観光に対する風評の払拭
- 対応** 教育旅行誘致促進事業、福島県教育旅行再生事業で対策
- 要望** JR只見線の全面復旧
- 対応** 実現に向けて引き続き支援を国に要望中

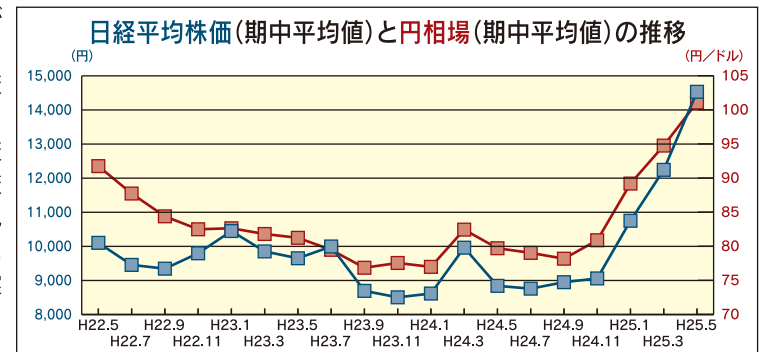
アベノミクスとふくしま復興

変われば、変わる!

昨年末、安倍政権が誕生し、日経平均や円相場の指標が劇的な変化を遂げました。

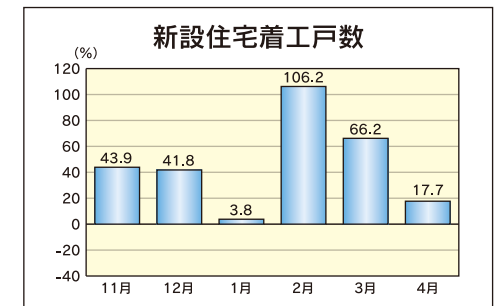
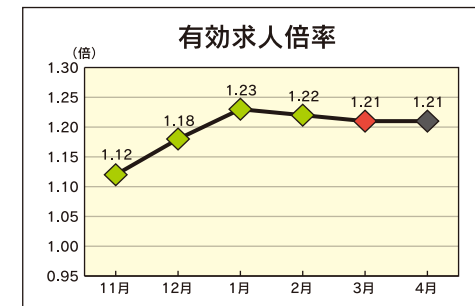
担う人物、組織が変わることで、ガラッと変わるということを体現した現実です。期待に裏打ちされた政策の実行力が問われます。

また、東日本大震災と原発災害からの再生を図る福島県にとっても、日本全体の経済活性化は重要です。除染による県土再生や農業基盤の立て直し、地域経済の再生と変革を成し遂げる上でも、中長期における経済と政治の実行力の伴った安定が必要です。



経済を立て直し、好循環を生み出し、復興を成し遂げる!!

復旧に向かう福島県にあつては、平成25年4月時点で、新規求人倍率1.77倍、有効求人倍率1.21倍という状況にあります。また、個人消費の主要な指標である新設住宅着工戸数や自動車販売台数なども、上昇トレンドを示しています。



6月定例会のポイント

- **県職員給与の減額**
国による地方交付税減額により、県における収入が約100億円減額となったため、7か月間の職員給与減額を議決致しました。
- **常磐自動車道追加IC設置検討**
南相馬市・双葉町・大熊町・富岡町に、スマートIC設置の検討が始められました。
- **あんぼ柿産地再生事業**
柿の産地の安全を確立し、検査機の開発と検査体制を整えて、あんぼ柿の再生を図ります。

自民党議員会が提案し可決された意見書

- 廃炉工程におけるリスク管理の徹底強化を求める意見書
- 原子力災害によるハンデ克服のための復興特区創設と拡充を求める意見書
- TPP交渉に当たり「TPP協定交渉参加に関する決議」が遵守されない限り参加に反対する意見書
- 東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した損害賠償請求権につき3年の消滅時効の適用を排除する立法措置を求める意見書
- 医療機器産業の集積に向けた支援の創設を求める意見書